

次期産業振興戦略プランの策定について

1 過去の計画の策定状況等

名称 (計画期間)	策定期期 (検討期間)	検討・諮問機関 (委員数×会議数)	対象 業種	重点課題
産業振興戦略プラン (H19.4～H24.3)	H19年3月 (5月)	産業振興懇談会 (12名×6回)	製造業	メイドイン長野を世界へ ・マーケティング支援、 産学官連携等の強化
ものづくり産業振興戦略プラン (H24.4～H30.3)	H24年3月 (10月)	中小企業振興審議会 次期計画起草部会委員 (5名×3回)	製造業	次世代産業の創出 ・成長3分野、アジア市場 等への展開の強化
ものづくり産業振興戦略プラン 【2018-2022】 (H30.4～R5.3)	H30年3月 (1年10月) ※1年延長	中小企業振興審議会 部会委員+専門委員 (6名×6回)	製造業	産業イノベーションの創出 ・生産性の向上、高付加価値化 への転換
〇〇産業振興戦略プラン(想定) (R5.4～R10.3)	R5年3月	中小企業振興審議会 部会委員+専門委員 (?名×4回)	製造業 +情報サ ービス業	

2 次期産業振興戦略プランの概要(案)

計画期間 現行のプランの計画期間が H30.4～R5.3 であるため、次期計画は R5.4～R10.3 の計画期間として、策定作業を進めたい。

※総合計画の計画期間と一致させるべきか

対象業種 製造業にとどまらず、付加価値が高く、将来にわたり成長が見込める産業の振興・創出を目指す。

構成 情勢の変化に応じて内容を更新できる仕組みとし、常に「使える」計画としたい。
重要なエッセンスのみで構成し分かりやすい構成としたい。

方向性 ※次期計画検討部会で議論(部会メンバー選定に向けて仮の方向性設定が必要)

- ・ものづくりにとらわれず、稼げる産業、革新力に富んだ産業の創出・育成にむけた内容
- ・現行プランの方向性(産業イノベーションの創出等)は維持
- ・自然災害やコロナ禍で浮き彫りとなった様々なリスクを踏まえ、県内産業の持続的な成長基盤の構築を目指して、DXやゼロカーボン、エシカル、SDGs といった要素を追加・強調する方向で検討

3 次期産業振興戦略プラン検討部会(仮称)のメンバーについて

- ・審議会委員(3名程度)+専門委員(4～5名程度)で構成
- ・製造業が目指す産業分野として掲げている3分野+情報サービス分野から各1名

(構成イメージ)

企業経営者(健康・医療分野)	: 1名	企業経営者(次世代交通分野)	: 1名
企業経営者(情報サービス分野)	: 1名	企業経営者(その他分野)	: 1名
学識経験者(環境・エネルギー、 <u>ゼロカーボン</u>)	: 1名	学識経験者(経済、技術、産学官連携等)	: 2～3名

参 考

■スケジュール案

	R 3								R 4											
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
次期プラン	→ 検討・準備																			
中小企業審議会	○				○						○					○				
計画検討部会						●		●				●			●					
財団合併	→ 検討・準備																			

■国の動向

【2021年ものづくり白書】製造業の生き残りに向けて重要な観点として以下3点

- ①レジリエンス（サプライチェーンの強靭化）、②グリーン、③デジタル

【経済財政運営と改革の基本方針 2021（骨太の方針）】

次なる時代をリードする新たな成長の源泉～4つの原動力と基盤づくり～として以下4点

- ①グリーン社会の実現、②デジタル化の加速、③新たな地方創生の展開、
④子どもを産み育てやすい社会

■他部局の産業系プランについて

農 業 … 第3期長野県食と農業農村振興計画（2018年度～2022年度）等

林 業 … 長野県森林づくり指針（2011年度～2022年度）等

観光業 … 長野県観光戦略 2018（2018年度～2022年度）等

■他県の産業振興計画の状況【定義があいまいなので参考値】（令和元年11月栃木県調査より）

回答のあった41都道府県のうち産業振興計画を策定しているのは30自治体

他11自治体は総合計画中に位置付け等